



ニュージーランドの農業事情

10月24日から11月4日までの12日間、秋田県市町村職員海外研修の団長として、ニュージーランドとオーストラリアの両国を視察してきました。

ニュージーランドでは農業事情と高齢者問題を視察し、オーストラリアでは世界遺産のブルーマウンテンを保護していく環境保護政策を学んできました。

今回視察した中で、特にニュージーランドの農業が印象に残りました。ニュージーランドでは、過疎、後継者不足を逆手にとって、経営規模の拡大につなげているのです。農場経営の規模を拡大して、農業を企業としてとらえ、立派に経営していました。その経営規模は目を見張るものがありました。集約された農地は、牧草地で50haから300haと、まさに機械化された大規模農業です。

日本との大きな違いは、農地の所有者が、自分の子供や親族に経営委譲するのではなく、やる気のある人を見定めて、農地を譲り渡す方式です。自分が高齢などで引退する際には、あらかじめやる気のある人に農場を手伝わせ、この人ならと思った人に、自分が大切にしてきた農地を譲っていました。こうして、経営規模が縮小されることなく、しかも、しっかりとした後継者に自分の農地を譲ることが出来るわけです。親族の農業に向かない人に引き継ぐよりも、やる気のある人に引き継ぐという形で、農業が守られているのです。今の日本、大館で、今すぐにこれをまねることは出来ないかもしれませんが、ただ、このような方法もあるのだという選択肢の一つにはなると思います。

さて、ニュージーランドという国は、これまで皆が一丸となって行政改革を実施し、その苦しみを超えて、現在は安定した社会をつくりあげています。

一方、大館でも究極の行政改革とも言われる市町村合併を通し、新しいまちづくりに取り組んでいます。激しい荒波を乗り越え、試行錯誤の中で、我々もまた安定した地域社会を構築していくことが出来るのではないかと考えます。

農業は、昔も今も、大館の基幹となる産業です。永続する農業は、永続する社会へとつながります。大館を永続させるため、全力を尽くします。

小畑 元

一緒にまちづくりを考えませんか ワークショップへの参加者募集

市では、都市計画マスタープランを充実させるため、ワークショップへの参加者を募集しています。このワークショップとは、地域のことを学びいろいろな立場の方々と一緒に作業をしながら考える集まりを言います。

今回は、市内を6地区に分けて、地域ごとにワークショップを開催する予定です。

特別に難しいことはしませんので、どなたでも参加出来ます。未来の大館を、将来の自分達の地域を、一緒になって考えてみませんか？皆さんからのご応募をお待ちしています。



こんな人を募集しています



ワークショップの期間

平成18年2月から平成19年2月までの1年間で、5回程度の会合を予定しています。

開催日時

土・日曜日の日中、もしくは、平日の夜に開催します。

参加資格

中学生以上の市民

募集人数

各地域とも、10人から15人程度

締め切り

12月26日(月)

申し込み方法

電話、はがき、FAX、電子メールで、住所・氏名・年齢・性別・連絡先の電話番号と職業をお知らせください。

申し込み・お問い合わせ先

〒017-0897 大館市字三の丸13-19
大館市役所建設部都市計画課 ☎49-3111 (内線312)

FAX49-2115

メールアドレス tskseibi@city.odate.akita.jp